

自民党の
池田^{衆院}議員が
文科省に圧力

異常な教育介入は 許せません!

前文科省事務次官の前川氏が名古屋市立中学校で行った授業について文科省が執拗に質問メールを送りつけ、この背景に自民党文科部会の幹部が直接関わっていたことが大問題となっています。この問題について、ご一緒に考えてみましょう。

日本共産党

教育は子どものもの

学校は何よりも子どもたちの成長・発達のためにあるものです。教育は子どもも教員も自由な雰囲気のもとであってこそ花開きます。とくに授業は自主性と創造性が保障されてこそ、子どもが感動する生き生きとしたものになります。今回の異常な教育への介入は、この自由な教育が脅かされるもので、断じて許されません。

憲法・教基法に反する

戦前は「教育勅語」のもと、天皇のために命を捨てるのが最高の道徳だとされ、国が教育を厳しく支配し、教育内容に干渉しました。その結果、国民を極端な国家主義と軍国主義に導いて戦争に駆り立てました。戦後の日本国憲法のもとでは、戦前の教育への反省に立ち、「教育は不当な支配に服することなく」行われるべきだと教育基本法に明記されました。今回の行為は国家権力の不当な介入そのものです。

戦前回帰への危険な動き

文科省へ圧力をかけたのは自民党文科部会長である赤池議員と、同会長代理の池田議員。ともに改憲右翼団体・日本会議議連のメンバーです。池田氏は日本青年会議所の会頭時代に侵略戦争を正当化するDVDアニメを製作。文科省が2007年にこのDVDを研究事業として採択した際の有識者会議メンバーの1人でした。安倍首相は去年の総選挙で池田氏の応援に入り、「まともな教育にしていこうと意気投合した」と演説しました。侵略戦争を美化し、教育に介入する議員は断じて許せません。

野党6党で 徹底究明に全力



野党6党は「教育現場不当介入問題 野党合同ヒアリング」を繰り返し開くなど真相究明に全力をあげています。文科省は自民党の赤池誠章参院議員と池田佳隆衆院議員が複数回調査を求めていることや、池田議員が調査メールを事前に見て、2か所の修正コメントをし、そのコメントも参考にして修正したことを認めました。

自民党と文科省による教育への
不当な介入を許すな!

緊急シンポジウム

■4月7日(土)午後2時

■市総合社会福祉会館 大会議室
北区役所7F (八王子中学校となり)

パネリスト
愛知教育大学名誉教授
折出健二さん
武田良介参院議員
学校現場からの発言



愛知教育大学名誉教授
折出健二さん



日本共産党参院議員
武田良介さん

安倍9条改憲NO! 豊田市民アクション始動

「安倍9条改憲NO! 全国市民アクション」(HPは <http://kaikengo.com/>) が呼びかけた、憲法を生かす全国統一署名を推進するため、豊田市内でも「豊田市民アクション」が結成されました。

3月25日(日)には、結成の経過報告と経験交流、学習のため「豊田ジャンプアップ集会」が市内で開催され、約85名が参加。この豊田市民アクションへの参加を呼びかけている梅村浩司弁護士は、呼びかけ人が市内の大学教授や医師、住職など14名にのぼっていることを報告。



愛知大の長峯信彦教授による講演では、9条改憲に反対か賛成か迷っている市民への働きかけについて有意義な説明が行われ、経験交流では年賀状など自分のつながりで署名を集めている取り組み等が報告されました。

3月議会・議案の問題点 日本共産党市議団の意見より

議員の期末手当アップ反対

議員と市長などの特別職の期末手当を増額するもので、報酬審議会の審議を行っておらず、NHKの1月世論調査では、景気回復を実感していない割合が約8割という調査結果があり、市民の理解は得られません。

国保県単位化で値上げ心配

平成30年度から、国民健康保険の都道府県単位化により、県が決める国保事業費納付金の全額を市が納める仕組みになります。同時に、一般会計からの法定外繰入を無くしていく計画で今後、高い国保税の値上げになりかねません。

政党や政治家からは、社民党と日本共産党、小林おさむ元愛知県議から決意表明が行われ、大村よしのり市議は、安倍内閣の支持率は落ちていくが9条改憲NO署名の活動をさらに広げていこうと訴えました。

給食センター民営化は不安

14園もの保育所等の給食を調理していた民間調理会社の倒産で多大な影響が発生。元々、保育所給食の外部搬入が違法とされていた経緯から、保育所給食のあり方を検討すべきです。給食センターのPFI方式は、採算性や利益を追求するため、その事業が歪んでいく危険性を指摘しました。

教育の基本方針を問う

他の自治体に先駆けて少人数学級拡大を進めてきた基本方向が、今は、4, 5, 6年生を残して止まったままとなつています。基本方向が変更された教育行政計画は問題です。

3月定例市議会の議案に対する各派・議員の賛否

3月定例市議会には、市長から68件の議案と2件の同意案件が提出され、議員提案の議案1件、市民からの請願が1件提出されました。日本共産党市議団は、このうち、市長提案の22議案に反対、他は賛成しました。自民、市民フォーラム、公明は、請願には反対し、他は全て賛成しました。「何でも賛成」の議員ばかりでは困ります。主な議案についての各会派の賛否(○×)は以下の表のとおりです。

	共産党市議団・2人	自民クラブ・28人	市民フォーラム(トヨタ労組系)10人	公明党市議団・4人	無所属・岡田市議
路上喫煙の防止等に関する条例…豊田市駅前など、区域を指定して路上喫煙を禁止する。	○	○	○	○	○
幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例…同伴で姫路市では法令違反が発生	×	○	○	○	○
市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例…期末手当の引き上げ	×	○	○	○	×
市職員退職手当条例等の一部改訂…市職員の退職手当を引き下げ	×	○	○	○	○
美術館条例の一部改訂…改修工事で一時的休館するため、年間利用パスポートでの閲覧可能期間を延長する	○	○	○	○	○
国民健康保険税条例の一部改訂…県単位化により国保税の値上げが進む事が心配される	×	○	○	○	○
介護保険条例の一部改訂…第7期介護保険事業計画では保険料基準額の4800円もの値上げ	×	○	○	○	○
後期高齢者医療条例の一部改訂…負担増が迫られる「年齢差別」の仕組み	×	○	○	○	○
平成30年度一般会計予算…ラグビーワールドカップ対応に多額の税金投入、一方で市民生活は「適正化」で削減	×	○	○	○	○
安永川開水路整備工事の請負契約…洪水対策のための治水事業	○	○	○	○	○
市道の認定…新たに36路線を市道に認定する	○	○	○	○	○
健康増進計画の策定…「健康づくり豊田21計画(第三次)」として策定する	○	○	○	○	○
東部給食センター改築整備運営の事業契約…PFI方式で民間会社に委託	×	○	○	○	○
教育行政計画の策定…「少人数学級」等への基本方向が変更された第3次教育行政計画	×	○	○	○	○
職員定数条例の一部改訂…職員定数を38人増やす	○	○	○	○	○
「リゾート安曇野」の存続を求める請願書…市民から3736名の署名	○	×	×	×	○
議員提出議案～議会の議決権の拡大…国内外の姉妹都市の締結について議会の議決を必要とする	○	○	○	○	○